



組合側主張

2019年度年末手当 第1回団体交渉

満額回答は十二分に可能である

本部は11月1日「2019年度年末手当に関する申し入れ」の第一回団体交渉を開催しました。

決算は、単体・連結とも増収・増益

「2019年度第1四半期決算」「第2四半期決算」と単体、連結決算ともに増収増益。第2四半期決算としては営業収益、運輸収入、四半期純利益で過去最高を更新。

JR労働者の努力で、4月時点での「減益」予想を「増益」に転じることができた。

台風と大雨による被害には甚大だが、労使で乗り切ろう

台風15号、19号と大雨で鉄道施設や車両など、各線区で甚大な被害を受けた。業績に与える影響など、会社の発展に責任を持つ労働組合として留意をしている。

鉄道の早期復旧と地域の復興に向け、これまで以上に労使で力を合わせ取り組む決意であることを、あらためて明らかにしたい。

消費税値上げは生活を直撃している

消費税率の引き上げや原油価格の高騰は「動力費」に大きな影響を与えることは十分認識をしている。それは、業績に与える影響だけにとどまらない。生鮮食料品や生活必需品など、私たちの生活にも大きな影響を与え続ける。

JR労働者の生活に対する安心感が必要である。

**第2回交渉は、11月11日
満額獲得に向け JR労働者の力を結集しよう！**

